

人とくるまのテクノロジー展 2017 名古屋 出展のご案内

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社はこの度「人とくるまのテクノロジー展 2017 名古屋」に出展する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

ご多忙中とは存じますが、是非ご来場賜り弊社ブースにお立ち寄りくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

開催日時 : 2017年6月28日(水)～30日(金)
10:00～18:00(30日のみ17:00終了)
開催場所 : ポートメッセなごや 第3展示館
小間番号 : 45(デバイス/画像技術)・213(計測技術)

■展示内容

R-Car + AGL への OTA(オーバー・ジ・エア)の実装 【小間番号 45】

ルネサス エレクトロニクス製 SoC「R-Car M2」に、AGL上で動作するATS社のOTAクライアントソフトウェアを実装いたしました。本展示会では、運転席の液晶操作パネルをイメージしたメニュー画面をOTAにより更新するデモンストレーションをご紹介します。弊社ではこのような、R-Carシリーズを活用したシステム提案活動を推進しています。

電子ミラー応用技術の R-Car 実装例 (ブラインドレスビュー・接近物検知) (参考出展) 【小間番号 45】

車体の複数の箇所に設置したカメラで撮影した視野やサイズの異なる画像を、死角の無い1つの画像のように美しい合成を実現いたします。また、画像認識により接近物を検知し警告を発することで周辺の安全性を高めます。本展示会では、これらの画像処理技術をルネサス エレクトロニクス製 SoC「R-Car V2H」に実装したデモンストレーションをご紹介します。

産業車両向け画像処理システム (参考出展) 【小間番号 45】

産業用コンピュータに画像処理技術を搭載した、産業車両向け画像処理システムです。産業用コンピュータ・カメラといったハードウェアに、マルチビューシステム・パノラマ展開・視点変換等の当社画像処理技術を搭載することが可能です。本展示会では、自社製産業用コンピュータ「HPU9100」にマルチビューシステムを搭載したデモンストレーションをご紹介します。

視線・睨開度検知技術 (参考出展) 【小間番号 45】

ドライバーの状態を常にモニタリングし、運転の準備が出来ているかどうかを判断するドライバーステータスマニター技術は、自動運転システムに必要な不可欠な技術です。本展示会では、その技術として、カメラを使用した視線検知や睨開度検知技術をデモンストレーションを交えてご紹介します。

世界で最も安全な道路交通社会の実現に向けた取り組み 【小間番号 45】

自動車の周辺環境を正確に認識することは、自動走行システムに必要な不可欠です。弊社は、内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム「走行映像データベース」への参加を通じて得てきた技術力とデータ収集車両を活かし、データ収集・加工サービス、開発支援環境やツール・サービスの充実を目指しています。本展示会では、これらの取り組みを映像を交えてご紹介します。

リアルタイム 3D グラフィックスエンジン「REMO」 【小間番号 45】

CG ツール Autodesk 3ds Max で制作したデータを活用し、インタラクティブな 3DCG コンテンツを実現するためのソフトウェア技術です。本展示会では、ルネサス エレクトロニクス製 SoC「R-Car M3」に REMO を実装したデモンストレーションをご紹介します。弊社ではライセンス販売の他、REMO を使ったグラフィック開発・実装等の受託開発もご提案しています。

小型 9 軸ワイヤレスモーションセンサを利用したデータロギングシステム 【小間番号 213】

小型 9 軸ワイヤレスモーションセンサ(加速度 3 軸、角速度 3 軸、地磁気 3 軸)を利用した、ケーブルレスで構築可能なデータロギングシステムです。車載データロガー、各種 ECU・センサデバイスの評価装置、IoT 設備予防保全等、幅広く応用することが出来ます。本展示会では、このシステムを車載データロガーに応用したデモンストレーションをご紹介します。

以上